

石教研理科(小)部会理論研修会① 終了報告

テーマ	新学習指導要領にもとづく理科の授業づくりの視点	
日時	平成30年5月29日(火)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	<p style="text-align: center;">山中 謙司 氏</p> <p>(肩書:)現:北海道教育大学旭川校准教授, 前:文部科学省国立教育政策研究所学力調査官・教育課程調査官</p>	
参加者	57名	
研修会 の 様子		講演に先立ち、講師紹介を簡単に行った。事前に山中先生から頂いたパワーポイントのスライド画面を参加者に渡している。
		山中先生の講演は80分間行った。「新学習指導要領で求められる3つの資質能力」、「理科で育てたい問題解決の力」、「振り返りの意義について」の3つの柱に沿って講演を行っていただいた。
		参加希望者は67名いたが、実際の参加は57名となった。運動会の総練習前日の日程となった学校も多く、研修会の途中から参加された方もそれなりにいた。
		山中先生の講演終了後、10分程度ではあるが、質問をとった。参加者の中から、教科書教材の取り扱い方について質問があり、研修の内容を深めることができた。
		質問終了後、部長の青木から山中先生へ謝辞があり、役員から諸連絡の後、参加者にアンケートを記入していただき全日程を終了した。